

豊郷小旧校舎

「改修の中止勧告を」

住民グループが監査請求

豊郷

米国人建築家ヴォー

リズ（1880～1964）が設計した、豊郷町立豊郷小旧校舎の耐震補強・大規模改修工事を巡り、町内の住民グループ「豊郷小学校の歴史と未来を考える会」のメンバー3人が5日、「不必要な耐震壁設置工事の中止と公金支出の差し止め」などを伊藤定勉町長に勧告するよう求める監査請求を、町監査委員に提出した。

旧校舎などは、旧校舎後利用検討委、まちづくりプロジェクト委の答申を踏まえ保存活用が決まり、昨年11月から工事に着手。工費5億3865万円で今年度末のリニューアル完了を目指している。

請求では、同町長がプロジェクト委や町議会に正確な情報を提供



監査請求を提出する「豊郷小学校の歴史と未来を考える会」のメンバー ―豊郷町役場で

せず入札を行ったと指摘。歴史的、文化的価値が損なわれるため、コンクリートによる校舎1、2階の不必要な耐震壁設置工事を中止

し、工事費約2000万円を減額するよう求められている。また、正確な耐震診断を行ったとして、大阪市の建築事務所耐震調査費用

2200万円を返還させるよう、町長に勧告することも求めた。

竹内秀典・副代表は「監査の結果次第で工事差し止めの住民訴訟を起こす」と話した。

【松井園夫】